

秋の集団健康診断

とき 11月26日(日)

場所 田無病院

*詳細は9月、10月にチラシを配布します。
未受診の方はこの機会を是非ご利用ください。

けんせつ 西東京

発行所
東京土建一般労働組合西東京支部
西東京市保谷町6-8-18
電話 042(461)1045
http://www.nishitokyo-doken.jp/
代表者 唐 鎌 昭 二
発行者 白 石 優
編集 教 宣 部

支部最高現勢を展望 秋の拡大月間

秋の大運動学習決起集会

吉祥寺第一ホテルにて



「拡大ガンバロウ!と意思統一」

9月3日(日)、安定した1・750人支部を実現しよう!と、西東京支部では秋の拡大月間成功へ向けて「秋の大運動学習決起集会」を吉祥寺第一ホテルにて開催し、70名が参加しました。唐鎌執行委員長のあいさつのもと、第1部の学習会として本部木村常任中央執行委員による「土建国保と社会保険情勢、法定福利費の確保」の講演を受け、学習を行いました。



「本部木村常任による学習会」

う」と訴え、秋の拡大月間行動提起がありました。

また今回は全分会、青年部・主婦の会・フレッシュ友の会・PALの会から拡大スローガンの提起があり、拡大月間の意思統一を行いました。

9月の支部現勢は、1・753人となっており、1月現勢(1・684人)比で69人増となっております。安定した1・750人支部を実現し、更なる発展のために、重要な月間となります。春に加入した仲間を訪問しつながりやを強め、新たな対象者には「くまモンラーメン・くまモンふりかけ」を持って訪問しましょう。

秋の拡大目標

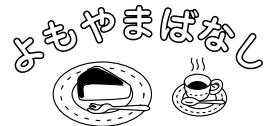
1分会	6
2分会	4
3分会	4
4分会	5
5分会	5
6分会	5
7分会	4
8分会	6
直属	29
合計	68

秋の月間統一行動日と節目目標

次 節	日 程	曜 日	節目目標	重点行動
第1次	9月8日~	金~	15% 10人	分会出陣式
第2次	9月13・14日	水・木	25% 17人	新加入者(事業所)訪問
第3次	9月20・21日	水・木	40% 27人	70周年お誘い訪問
第4次	9月27・28日	水・木	50% 34人	中間決起お誘い
中間決起	10月1日	日		日曜行動&交流会
第5次	10月4・5日	水・木	60% 41人	後継者バーベキュー
第6次	10月11・12日	水・木	75% 51人	支部健診・有機溶剤
第7次	10月18・19日	水・木	100% 68人	有力対象者
第8次	10月25・26日	水・木	実増、上積み	

秋の拡大月間 スローガン一覧

- 分会 スローガン
- 1分会 みんなで仲良く手を取りあって達成目指そう!
 - 2分会 明るく楽しく仲間の輪を広げよう!
 - 3分会 100人分会目指してガンバロウ!
 - 4分会 和気あいあいと若い世代をイベントに誘い出し、後継者を獲得しよう!
 - 5分会 分会ファースト
 - 6分会 仲間を増やし 明るい生活向上を!!
 - 7分会 みんなで実増めざしてガンバロウ!
 - 8分会 広げよう仲間の「和・輪・笑 (~WA・WA・WA~)」
 - 青年部 若い力で拡大ガンバロウ!
 - フレッシュ 先輩たちの功績を継続し、フレッシュな力で拡大達成回数をのばすぞ!
 - 主婦の会 誰もが主役・一緒にできる仲間づくりを!
 - PAL 住宅部会と共に組織人員60人目指して頑張ろう!



「七草」と聞くと、「春の七草」を思い浮かべる人が多いと思うが、秋にも「七草」があるのを御存知だろうか。

秋の七草は、万葉集に登場する歌人・山上憶良の詠んだ歌が由来とされている。その花の名前を挙げたのが次の歌だ。『萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝顔の花』
春の七草は食べて無病息災を祈るのに対し、秋の七草は見て楽しむのが主な目的。古来、秋の野の花が咲き乱れる場所を「花野」といい、花野を散策して短歌や俳句を詠むことが風流とされていた。ちなみに尾花はスキのこと。朝顔の花は、日本古来の「桔梗」を指すと言われる。また、撫子の花の「ナデシコ」とは、日本古来の「カワラナデシコ」を指し、日本女性の代名詞とされる「大和撫子(ヤマトナデシコ)」はこの花の別名だ。こうした豆知識を身につけて花を眺めると、秋の七草ならではの風情をより一層感じることが出来る。秋の七草の多くは、公園や道端など、比較的身近なところで見つけることができるのも魅力のひとつ。
さて、我が家に「大和撫子」は咲いているだろうか。

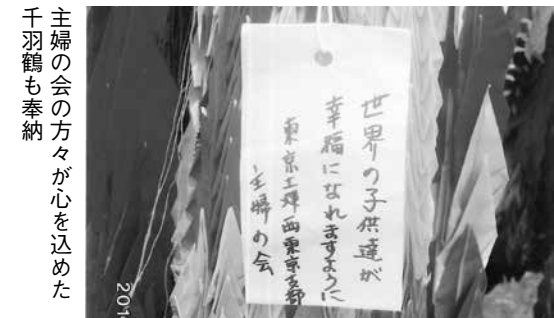
原水爆禁止2017 世界大会長崎参加報告

核兵器禁止条約締結されるー日本も批准をー

東京土建 西東京支部
第6分会 宮崎正樹

迷走停滞台風の影響が心配される8月7日早朝の羽田空港より30分程度の遅延で福岡に、六分会より私宮崎と高橋氏両名で土建代表として、原水爆禁止世界大会の長崎会場に行かせていただきました。

非常にタイトなスケジュールの中、開会総会の会場に滑り込み、国連の方たちの話を聞き、今年7月7日に核兵器禁止条約の締結がなされた事、日本は唯一の被爆国でありながら、交渉会議に参加しなかったこと等大変勉強になりました。二日目の8日は西都保健生協の青木女史をまじえ三人で、動く分科会「被爆遺構・碑めぐり」に参加してきました。



主婦の会の方々が心を込めた千羽鶴も奉納

坂の長崎と言われるだけあって、どの見学場所に行くにもアップダウンの激しい町でしたが、どの遺構も大変感慨深く原爆の悲惨さを72年過ぎても私達に伝えるかのようでした。

午後には被爆者の体験談を聞き、原爆の恐ろしさを再認識させてもらいました。三日目の9日最終日は、本番の世界大会集會が行われ、会場は芋を洗うような人数で、ごった返していました。

そこではまた違う被爆者の体験も聞くことが出来て大変勉強になりました。

今回初めて大会に参加して、核兵器の廃絶を訴え続ける事が大事なことだと再認識する事が出来た三日間でした。

悲惨さに言葉が出ず、原爆の恐ろしさを実感

東京土建 西東京支部
第6分会 高橋光男

この度、私高橋光男と宮崎正樹氏を代表として原水禁長崎大会に派遣して頂き、有難うございました。



千羽鶴を奉納する高橋さん



2017.08.08

品川支部の方が三名同席し、交流を深めました。

二日目の遺構巡りは、爆心地・松山町の公園へ出発。途中防空壕を見学し、その後浦上天主堂へ。長崎は

坂の街、との想像通りでした。灼かれた天使像や爆風によるものなのか、浦上天主堂にある鐘楼の一部が崖下に飛ばされたのは、

原爆の恐ろしさを実感できました。それから山里小学校の防空壕跡へ。およそ1.300人の児童が亡くなられたそうです。すぐ近くの永井隆記念館も見学しました。世界平和を祈り、人類愛に満ちた研究者の生涯について映像を観て、命の尊さを思い知らされました。

昼食後は被爆者の語りを聞いて、あまりの悲惨さに言葉が出ませんでした。

口が焼け、喉が痛いとお水をせがむ、そうして水を飲むと息が絶えてしまったそうです。

そこから平和公園を通り、原爆資料館へ。入り口の11時2分止まった時計を見て、また悲惨さを思い返しました。最後の閉会式に出席し、千羽鶴を納めてきました。皆様の心遣いを大切に、後世に伝えることを誓います。

満足してもらえた 子ども工作教室



7分会 松下 晃
はじめて、子ども工作教室に参加した7分会の松下晃と申します。子ども達と一緒に工作を行いました。「かなづちを叩いている様子が頼もしかった」との感想があり、とても満足してもらえたと思います。今後は、親子で一緒に作れるような工作教室が出来れば良いな、と思います。

夏レクで青年部・後継者対策部の交流進む



参加者みんなで記念写真

今年の夏は雨が多ス釣りを兼ねた24名の参加で、8月1日から21日間連続で降水を観測。お盆の季節も降っておりました。当日は時折晴れ間が覗きました。

り、夏を満喫できなかった方も多かった。今年のはないでしようか。

今年のはないでしようか。今年のはないでしようか。今年のはないでしようか。



子ども達とスイカ割りを楽しむ谷島後継者対策部長

第10回 わんにゃん大集合

はあ太の仕業? 書記 湯本大樹



僕が小さい頃から、我家ではずっと猫を飼っていました。この子は3代目のはあ太くんです。人懐っこくて、カワイイ子です。この場所がお気に入り。実家で朝に目を覚ますと枕元に置いてあるカリカリとカニカマ、あれはきつとばあ太の仕業なんだらうなあ。朝ごはんを用意してくれる、優しい子です。